

特別指導記録簿ラベルシートの取説

①特別指導シート(ラベル)に診断結果の注意すべき箇所を指導者が分析・記入し、対象者(高齢運転者)へ指導を行う

②対象者(高齢運転者)は指導された内容に対して自身の注意事項を記入する

③次回予定日を双方で確認し記入後、シートを下記の適性診断票に貼る

※適齢診断票を貼る場所は、表紙の裏面もしくは診断票の空白部分が多い箇所がいいと思います。

④貼った箇所に付箋などの目印をつける

※この付箋に運転者名と実施日、そして次回予定日を記入すると管理レベルは上がると思います。

氏名○○●●
次回(2027.5.30)

顔写真 氏名
適性診断票
(適齢診断)

平成22年2月 殿が受診なさった「適齢診断」の結果
は次のとおりです。

[1]総合所見
○あなた自身の気持や安全意識、他人に対する感情、協調性、運転判断、動作、注意、危険回避
●運転判断、動作、注意、危険回避

[2]心理状態

判断・動作のタイミング
危険感受性
他人に対する好意
気持ちのおおらかさ
協調性
動作の正確さ
注意の配分
安全態度
感情の安定性

グラフの見方：円の外側へいくほど状態が良好です。朱色の項目については特に注意が必要です。

付箋(特別指導シートの目印)

- ・適齢診断と特別指導は3年毎にセットで実施しなければいけません。
- ・3年は長いですが、意識していないと失念する恐れがあるので担当者の皆様のやり方で管理方法を確立して下さい。

案として付箋に、**対象者名と次回実施日**(適齢診断と特別指導)を目立つように記入する方法がいいと思ったのでご提案させていただきます。